

【解説】「地球再生——来るべき地球変化への序章」(2/26) は *Book II: The Earth Re-Born* の Introduction を訳したものだが、ここに同書の (Chapter 1: Ancient Prophecies, Chapter 2: A History of Upheaval を飛ばし) Chapter 3: Prophets of Our Times を訳してみた。前にこれを、いま徹夜してでも急いで読むべき本だと言ったように、(10 章まである) この本には、この時期、我々の心得ておくべき知識が凝縮されて詰め込まれているように思える。第 3 章だけを取ってもそれは言える。

もちろん読む人によって異なるだろうが、目を開かれるポイントがいくつかある——1) 予言の深い理解——予言は当たる・当たらないで単純に価値判断すべきものではない。2) なぜ、カルマというネガティブなものがある、地球人だけを苦しめてきたのかの物理的(?) 説明。3) 我々の遺伝子の秘密——地球人類は早い時期に、我々を支配しようとする、遺伝子操作の技術をもつ E T の暗黒勢力によって、霊的遺伝子を切り離され、霊的に盲目にされることによって、3次元の物質的世界に閉じ込められた。このショッキングな話は、高次元世界からの同じ証言が数限りなくあるから、信じざるをえないだろう。

参考のために、この本の 4 章以下の題を記しておこう——4: Cleansing Planet Earth, 5: The Higher Plan, 6: Time for Choice, 7: The Flying Saucers, 8: Home on a Mother Ship, 9: Planning a New World, 10: Updates from the Galactic Federation & Higher Spiritual Sources

## 現代の預言者たち (『地球再生Ⅱ』第 3 章)

1994 年 3 月、NBC テレビネットワークが、地球変化についての古代と現代両方の予言を扱った「古代の預言」という番組を放映した。これはアメリカとカナダの何百万という視聴者によって見られ、2 万 4 千を超える質問が殺到した。主な内容は **Gordon-Michael Scallion** による、20 世紀の終わりまでに地球を襲うとされた、激烈で重大な地殻変動の予言であった。こうした出来事は今のところまだ起こっていないが、近い将来の潜在可能性として残っており、したがってその詳細を考慮に入れておくべきである。

スカリオン氏は 1979 年まで、コミュニケーションと教育の分野で仕事をしていたが、健康の危機を経験し、これがきっかけで「予言能力」を与えられた。彼の注目すべきいくつかの予言をあげれば、1992 年 4 月 22 日と 6 月 28 日のカリフォルニア地震、1993 年に起こったフロリダ州アンドルーのハリケーンと、ミシシッピ州の大洪水などである。

1994 年 3 月の番組を見た人々は、スカリオン氏が「内なる眼」によって描いた“アメリカの未来図：1998-2011”を見ただろう。彼の経営する Matrix Institute から出版されているこの地図は、アメリカで起こる大きな地殻変動を、2 つの相に分けて示している：——

最初の超メガ級の、10-15 マグニチュードでおこるカリフォルニア州の地震は、ユーリーカからベイカーズフィールドにかけて、そして南はカリフォルニア・バハ湾にかけて、一直線に亀裂を生じさせる。裂け目と亀裂が、サンホアキンとサクラメント・ヴァレーをつなぐ線で生ずる。洪水がカリフォルニアの海岸地域の大部分を水没させ、今存在する陸塊の一部が島になる。

もう一度、大きなカリフォルニアの地震があって、アメリカの北中部プレートが激しく突き上げられて傾き、カリフォルニア州の多くが海中に没する。より高くなった場所は島として残り、カリフォルニア諸島として知られるようになる。オレゴン州ニューポートとアリゾナ州タクソンを結ぶ線の西側の陸塊の大部分は、切り離されて数分で水没する。この線が合衆国の新しい西海岸を形成し、アリゾナ州フェニックスとともに主たる海港となる。

東部沿岸地域では、メイン州からフロリダ州への海岸線もまた、何マイルも内陸部へと押しやられる。フロリダは大きさが今の半分以下となり、すべてのフロリダの小島は海中に消える。

アメリカ大陸の中央部では、広範囲の水の帯がミシシッピー川流域を水没させ、五大湖と連結するが、五大湖自体も水位が上がり拡大して、合衆国の東部を西部から切り離し、効果的に2つの別々の陸塊を創り出すことになる。

スカリオン氏は、地球の磁極が2回西側にシフトするのを霊視した。最初は7度、次に、地核のシフトによるマグマのずれの結果として、更に6度シフトした。そこに寄与する一つの要素として、彼は、大きな天体である「青い星」が我々の太陽系に入ってきて、太陽系内部での地球の位置に変化が生ずるのを見た。

ところで我々が常に頭においておかねばならないことは、これらの出来事はまだ現実には起こっていないけれども、それらはすべて、より高い霊的地平から見られる“潜在可能性”だということである。それらは現実には、その時（スカリオンが霊視した時）以来人類が達成した比較的良い進歩によって先送りされ、大きく修正されたとしても、やはりその要素は、おそらく程度は小さくなったとしても、我々の最終的「アセンション」として神によって適当と定められた時期に、形を取って現れるであろう。

もう一つ別のアメリカの「未来地図」が、1988 から 1991 年の間に、**Lori Adaile Toyne** によってチャネリングされた。これはアセンションを果たした先達である **Saint Germain, Kuthumi, El Morya, Mother Mary, Sanat Kumara, Sananda**, その他、地球の霊的階層

(Spiritual Hierarchy) の先覚たち (Masters) が合同で伝達してきたものだった。これはアリゾナ州ペイソンの Seventh Ray Publishing によって “New World Atlas” として出版された。

この資料は、スカリオン氏による地図と驚くほど相似性を示すものであった。アメリカ西部海岸の多くは、ワシントン州から南はオレゴン州まで水没し、カリフォルニア、ネヴァダ、ユタ各州のほとんどは海に覆われるというものだった。これによって新たな海岸線が、デンヴァー近くのロッキー山脈からアリゾナ州のフェニックスへと延びることになる。同じようにこの地図では、ミシシッピ川は広大な入り江へと拡大し、面積の広がった五大湖地域にまで達し、東海岸の一部は水に浸かり、フロリダ半島の先端は海底に沈むことになっている。

再び、この同じ概要地図の多くが、さらに別の出所から予言されていた：——

催眠による過去世への退行は確立されたテクニックであり、催眠術をかけられた人は、彼あるいは彼女の前世における特定のエピソードを思い出すことができる。Helen Wambach 博士による先駆的な、過去世または出生以前の世界についての研究は、彼女の2冊の出版された本 *Recalling Past Lives* (Harper & Row, 1978) および *Life Before Life* (Bantam Books, 1979) に概観されている。一連のグループ実験によって、このテクニックの有効性を十分に証明した後で、ワンバック博士は、これを未来に適用したらどうなるだろうと考えた。そこで彼女は同じような実験を始め、参加者に自分の可能な未来世を、催眠術的“前進”、つまり退行でなく“未来への投影”によって、予見させるチャンスを与えてみた。

ワンバック博士はその当時、1983 年の一連の未来世界投影の被験者にもなった Chet Snow 博士から、研究と実験の助けを得ていた。スノウ博士はその頃、アメリカ空軍の文官として歴史家/記録係の仕事をしており、後には催眠セラピストの資格を取得して、退行セラピーを行っていた。催眠状態でのこれらの未来投影の魅力ある記録は、スノウ博士の著書 *Mass Dreams of the Future* に記載されている。

スノウ博士は催眠状態で、20 世紀末における自分の未来の生活について、見えるものを声に出して語った。ここで彼は、自分がアリゾナ州フェニックスの北の人里離れた牧場にいるのを見る。そこは、サイキックな伝達スキル (テレパシー) 開発のための学校として、また、予想される「地球変化」に備えたサバイバル基地として設けられた、小さな共同体であった。

彼の語るところでは、この小さな共同社会はその時、食料や他の生活用品を溜めこむのに忙しく、それらは今、気象パターンの変化のため高価で希少になっている。世界のニュースでは、天候はますます予想できなくなり、気まぐれな嵐や、記録破りの熱い、また寒い期間があり、地球すべてが旱魃と例外的な降雨に見舞われている。世界の株式市場と金融システムもまた崩壊しつつある。

それから一年ほど時間を飛ばし、スノウ博士は、大きな地震が環太平洋地域を襲ったと知らされる。南カリフォルニアの海岸地帯が沈み、かつて建造物が密集していた海岸地域が海中に没し、富士山が噴火して、日本の多くの土地が沈み、アメリカからアラスカへかけた西海岸を含め、太平洋の「火の環」全体に及ぶ一連の地震と噴火の引き金となった。

2週間目の終わりころには、テレビやラジオはやっとすべての人たちに向かって、「最悪の事態は終わりました」と告げていた。なおも催眠状態にあるスノウ博士はこう語った——「水はゆっくりと引いている。我々はこの新しい状況に適応しなければならない。連邦政府はすでに、内陸の奥深くに仮の移住センターを建設中で、あらゆる人々が再建の話をしている。しかし多くの農耕地は永久に失われている——南カリフォルニア海岸線は言うまでもなく。」

さらに2カ月ほど先に進んで、南カリフォルニアでは、前の地震に続いてはるかにもっと壊滅的な地震が起こった、と彼は報ずる——「それは西海岸の広範囲な領域の沈下を加速させた。そのため海岸線は、アリゾナ州フェニックスから200マイルの所まで上がりながら移動し、オレゴン州までずっと、山間地域だけが水面上に残っていた。南方では、メキシコ湾が内陸へと侵入してテキサス州を覆い、アリゾナの残った部分は程度の差はあれ、水によって東西に切り離されていた。」

もっと時間が進むと、スノウ博士はこう続ける——「最初、私の周囲であらゆるものが黒く見えた。それから私は空が完全に暗くなっていることが分かった。大量の埃と火山灰が、この2回目の一連の噴火によって大気中に投げ出されたために、天候もさらに悪化していた。最悪のことは、大破壊の最初の2、3週に起こったのだが、太陽は全く戻らなかった。温暖な広いベルト地帯の緑の植物は、ほとんど枯れて死んだ。」

このような予言を考えるときに忘れてならないことは、未来の出来事のすべてのタイミングや順序が、完全に正確ではありえないことである。なぜなら時間的な前方への投影は、潜在可能的な未来でしか構成できないからだ。すべての進化の過程において、現実の原因結果という出来事は、何よりもまず、個人の「自由意志」という変化する修正要因に、常に従属して起こらなければならない。前方に投影されたかなり正確な姿は、より高い地平からは可能ではあるのだが、**人類の内在的な「自由意志」の力は、どんな未来の出来事に**

も、予期しない変化を及ぼすのである。また、それらを取るどんな未来の方向も、その期間における人類の全体としての「集団意識」の進歩に、常に左右されるのである。このことは、なぜ我々が今、「より高い根源」(Higher Sources) から次のように知らされているのかを説明する——すなわち、前から予言されていた「地球変化」の厳しさが、最近における人類の、かなり急速な霊的かつ進化的進歩のおかげで、このところ大きく緩和されたということである。

ところで現在、全く違った情報源からの地球変化予言について言えば、第2次大戦以来、来るべき「地球変化」について、より高い霊的領域から伝達された莫大な量のチャネリング情報が存在している。そのいくつかの例を下に示そう：——

**The Master Hilarion (先覚者ヒラリオン)**、「地球の霊的階層」のアセンションを果たしたメンバー：

「都市は瓦礫の山になるだろう。美しい森林の風景は、恐ろしい嵐の力によってなぎ倒されるだろう。大きな地震がこの惑星の着ているものを引き裂き、人類の全歴史を通してこの惑星上でかつて見たことのない、破壊のパッチワークにしてしまうだろう。

「何千年も前に沈んだ大陸が海の中から上がってきて、文明はこれが最初ではなかったことを人類に示し、人間の努力が破局を迎えて押しつぶされるのも、これが初めてではないことを教えるだろう。

「地表を喰って吹き抜ける大気嵐が、たった一息で森の木々をなぎ倒し、湖や海の自然の貯水池から水を吹き上げ、海岸から遠く離れた内陸へ、破壊と洪水を広げるだろう。かつて誇った文明から、人間が自分のために築いたものは何も残らないだろう。

「苦難の最後の部分のあいだ、太陽と月の光は長い期間、完全に遮られ、呼吸する空気でさえ肺の中で汚れた瘴気になるだろう。」(1979、Maurice B. Cooke のチャネルによる)

**先覚者 Jesus-Sananda :**

「そして大きな地震があるであろう。それは北米の土地を真っ二つに割り、世界が見たこともない有様となる。なぜなら北大陸の大きな陸地の大半は沈み、その中心部分に、カナダからメキシコ湾へかけて大きな海が形成されるからである。

「そして地中海の水は陸上を北へ押し寄せ、北極圏に到り、その場所へとまた戻るであろう。そして黒海と地中海は一つの海となる。またアジアの国境の内部に大きな変化がある。

「アフリカは一変する。その海岸線は西の方で崩れ、大きな川（複数）が砂漠の中を流れるであろう。

「あなた方は再三再四、地球の軸が移動すると聞かされてきたが、その通りになる。気象の大変動がある。現在不毛の北方の土地は亜熱帯となるだろう。木々は亜熱帯の果物を実らせ、動物世界は新しい種の世界になるであろう。そして南極の通行不能の障壁であったものが通行可能となり、人類はその内部に新しい大陸を発見するだろう。」（Sister Thedra のチャンネルによる）

チチカカ湖に近い、ペルーのアンデス山中にある「Seven Rays 団」僧院の Brother Philip は、彼の著書 *Secret of the Andes* に、“Great White Brotherhood” からのチャンネル情報の写しを載せている。彼が引用するのは **Sanat Kumara** であるが、この存在は 1,800 年以上前に “Planetary Logos of Earth” の役を引き受けた、金星からの高度に進化した先覚者である：

「そして今我々は、この大いなる通過儀礼（Initiation）の時期に入る。地球の空は空想の世界のようになるであろう。私は正直に言うが、地球の上空の偉大なしるしと見せ物になるものを、ペンは記録したこともなく、声が語ったこともない。なぜなら自然そのものが短い期間、支配力をもつからである。大きな雨嵐と洪水が起こるであろう。あなた方は 40 日間、昼も夜も雨が降ったという話を聞いているであろう。これから降る雨はその比ではない。おそらくそれは 40 カ月に及ぶであろう。地球の表面がすっかり変わってしまい、見わけがつかなくなるだろう。

「間もなく風は吠えるのを止めるが、それは我々に理解できないほど速やかにそうなる。それはすでに我々の上に起こっている。なぜなら私は、地球上の物理的表現の少し上の地平（plane）でそれを目撃したが、一つだけ地平を下れば、それは現実となることを意味するからだ。」（Brother Philip のチャンネルによる）

チャンネル情報のもう一つの源は、プレアデス星団（Pleiades）から発するものである。プレアデス人（Pleiadians）というのは、我々が遠い昔にこの惑星にやって来て以来、地球と人類に密接に関わり合ってきた惑星人種である。彼ら自身、遠い前地球時代に、同じ人間の進化的ルーツを、他のいくつかの惑星上にもっていた人々である。彼らは、彼ら自身

の恒星系の内部に、繁栄する平和な社会を発達させ、幾時代をも通じて、地球の発達を絶えず注意深く観察してきた。Amorah Quan Yin のチャンネルによる *The Pleiadian Workbook* という本の中で、**Pleiadian Emissaries of Light (光のプレアデス密使団)**は、その代弁者である **Ra** を通じて、来るべき地球変化のより大きなコンテクストへの重要な洞察を語っている：

「あなた方とあなた方の惑星は、この時期、あなた方の霊的進化における、比類のない驚くべき転換を遂げようとしている。あなた方は、これまでに起こったどんなものにも似ていない、ある量子飛躍に備えようとしている。これをあなた方にもっと十分に理解していただくために、この銀河系全体が、〈存在するすべて〉の〈大きな中心的太陽〉(the Great Central Sun) の周りを廻っていることを、私は最初に説明しなければならない。あなた方の〈太陽の環〉(我々の言葉で「太陽系」)が銀河の中心を廻っているのと同じように、銀河そのものも、連続的に結合する輪を重ねながら、大きな宇宙の螺旋のように、空間を移動しているのである。

「この〈大きな中心的太陽〉をめぐる、何十億年をかけての一周が完了したポイントで、我々の銀河は、大きな〈宇宙の螺旋〉上の次の〈環〉の対応点に連結する。この大きな宇宙的螺旋の一つの環から、次の環の対応点への移行が起こったとき、惑星、太陽系、およびそこに住む者たちすべてが、同時に、新しい進化のサイクルへと‘initiativ’ (通過儀礼的?)な一歩を踏み出すのである。これがまさに今起きている。あなた方は、26,000年の地球/太陽/プレアデスのサイクルの終わりにいるだけでなく、〈太陽の環〉を含むこのプレアデス系全体が、銀河系中心をめぐる2億3000万年の軌道の終わりにいて、銀河系全体も、〈大きな中心的太陽〉をまわる、はるかにより長い軌道の完成点に来ているのである。

「2012年の終わりに先立って、地球は霊的および肉体的な、家の大掃除をすることになるが、これが一般に〈地球変化〉と呼ばれているものに相当する。すでに始まっているこれらの変化は、あなた方の〈太陽の環〉が、より深く〈フォトン・バンド〉つまり銀河中心からの高周波宇宙放射の中へ入っていくほど、外面的にも内面的にも激しいものになる。あなた方は、すでにここ数年、この〈フォトン・バンド〉の端に入ったり出たりしており、2000以後は、次の2000年にわたって完全にこの帯の中に浸されることになる。

「洪水、地震、陸塊の変化、火山噴火、そして最後に完全なポール・シフト、これらすべてが2013年以前の残った年月内に起こり始めるだろう。そしてこの年(2013)に、光の都市に入るための秘儀の修練所であり家庭としての、地球の銀河・太陽・通過儀

礼 (Galactic Solar Initiation of Earth) がついに始まるであろう。いま地球に住んでいるあなた方は、この時期を超えて地球に留まるためには、靈的に責任ある人間になる用意ができていないかの選択をしなければならない。地球に留まることを望まない人々は、銀河系の他の場所、カルマの学習と3次元の進化が継続する別の惑星へと移動させられることになる。」

「フォトン・バンド」の性質についてのもっと詳しい説明が、プレアデス情報源から、この場合 **Satya** によって、我々に届けられている。サティアは、プレアデス星団と「Alcyone 中央プレアデス図書館」のための占星術家、記録保存者である。アルシオーネは、プレアデス星団の中心的恒星であるだけでなく、天の川銀河のこの領域の「大きな中心的恒星」として、我々の太陽系のために機能している。

「あなた方の太陽は、プレアデス螺旋の8番目の恒星としてスピン運動をしている。そしてプレアデス星団自体も——銀河系全体がその軸上でスピン運動をするとともに——銀河の内部で螺旋運動をしている。あなた方の太陽系は、地球が獅子座と水瓶座時代を歳差運動しながら通過するときに、フォトン・バンドを通り抜け、それから〈大時代〉の他のすべての黄道十二宮の対極の期間は、あなた方はずっと〈銀河の夜〉を通過し続ける——すなわち蟹座/山羊座、双子座/射手座、牡牛座/蠍座、牡羊座/天秤座、および魚座/乙女座の期間である。今この時、あなた方は、魚座時代をすぎて水瓶座時代へと移行しながら、フォトン・バンドへと突入しているのだ。

「フォトン・バンド (複数) は7次元の〈光のドーナツ〉で、これは銀河中心の垂直軸から発している。それらはぐるぐるスピンし続け、銀河中心を通過して〈銀河の夜〉の暗闇に入る。銀河中心 (複数) [=ブラック・ホールに見える中心の銀河渦巻き] は、9次元の純粋な闇であるが、にもかかわらず、それらが自分の軸上でスピンするとき、それらの渦巻きの驚くべき力が、9次元の銀河同期光線 (galactic synchronization beams) を外へ発するのである。これらの同期光線は、ブラック・ホール銀河中心から、銀河の軸スピンによってトルクを与えられて、スピン・アウトする。これらブラック・ホールの渦巻きを中心にもつ光線、ベルト、軸、そして水平面は、インテリジェンスの8次元有機組織システムである。天の川銀河では、この8次元の輝きが、銀河連盟のものである光の一部であり、これが〈情報ハイウェイ〉フォトン・バンドによって、銀河系をその形に保っている。いくつかのフォトン・バンド内部に永遠に存在するすべての星は、他の星たちを捉えるスパイラルを発生し、アルシオーネのような、これら特別の〈フォトン星〉は、そのため銀河連盟図書館として機能するのである。

「あなた方の太陽は、アルシオーネから出てくる螺旋をなす〈星の光〉によって、プ



レアデスにつながれている。〈星の光〉とは、プレアデス星団の星たちを通して外へ流れ出る5次元の光のことである。それはアルシオーネから発し、Merope, Maya, Electra, Taygeta, Coeleといったプレアデス星を通り、最後にはAtlasを經由して、あなた方の太陽に達する。あなた方の伝説で、アトラスが宇宙空間で地球を肩に背負っているのはそのためである。プレアデスの星はすべて、ただ一つフォトン・バンドに永久に位置しているアルシオーネを除いて、地球時間の2,000年をかけて、7次元のフォトン・バンドを通過する。それからこれらの星たちは、地球時間のさまざまな長さの期間、〈銀河の夜〉を通過する。

「メローペやマヤのような、アルシオーネに近い星たちは、〈銀河の夜〉にいる期間よりもフォトン・バンドに入っている時間が長い。あなた方の太陽系は、大半の時間を〈銀河の夜〉の中で過ごす——闇の中で11,000年、光の中で2,000年。これはどういうことを意味するか？ 太陽系のさまざまな構成員は、〈銀河の夜〉の中にいる間に、濁って光を通さない状態(dense)になり、これは〈カルマ〉と呼ばれる経験を生み出すことになる。すなわち、我々の4次元の肉体にある霊的レベルの感情が、表現を求めて3次元の物的世界に下りてきて、これを行動に翻訳するという体験である。7次元のフォトン・バンドを通過する肉体は、濁りが少なくなり、より多次元的になる。結果として、肉体が〈フォトン・ライト〉を取り入れることによって、その感情的肉体は浄化され、物的肉体の振動が強化されるのである。

「銀河の中心から出てくるフォトン・ライトの7次元の“ドーナツ”は、〈好奇心〉の性質を刺激する〈情報ハイウェイ〉である。結合への欲求、両極を結び、二重性(duality)の両サイドの新しい表現を求める欲求などは、この好奇心の情熱からくる。この欲求こそ、7次元フォトン・ライトの曲げた先を銀河中心へと引き寄せて“ドーナツ”を作らせているものだ。銀河系は、中心の渦巻きに重力の核がなければ、空虚な空間へと崩壊するだろう。その渦からフォトン・ライトの鼓動が外へ発せられている。」(1996, Barbara H. Clowのチャンネルによる)

## 我々に起ころうとしている Light Body (光る身体) ——Mary Mageau による

いま人類はこの変容の時代に入っていくながら、大きな目覚めを経験しつつある。我々の多くは、職を変えたり、古い関係を終わりにして新しい関係に入ったり、新しい場所に移住したり、大胆で創造的な夢を見たりしながら、自分が生きていることのより深い意味を求めようとしている。どちらを向いても、我々が目撃するのは、普通の人々が今は質問をし、答えを要求し、政府や教会や、我々に大きな力をもつ大きな組織に、より大きな説明責任を求めている事実だ。こうした世界的な出来事の背後にあって、これを動かしている

のは何だろうか？ このあらゆる所で起こっている変化へのシナリオは、我々の太陽系と地球惑星に絶えず降り注いでいる「光」の波によって動かされている。そして近い将来において、この新しい意識の上昇に完全に参加する意志のあるすべての人々は、より高い次元の「光」の身体へと変移させられるだろう。

2000年という期間を通じて、我々の太陽系は、極端な高エネルギーの帯を通過することになる。このバンド（帯）は「メナシク放射帯」とか「フォトン・ベルト」と呼ばれている。我々がいま突入したのは強烈な「光」の期間であり、これはその内部のすべての生命体を、新しい、より高い振動の中へ引き込む。この「フォトン・ライト・エネルギー」は、すべての生命をより高い周波数次元へと引き上げる力をもっている。それは、我々の身体の細胞そのものの原子構造が、高まる周波数に同調するとき、すべての存在の潜在性を覚醒させる種をもっている。我々は3次元の炭素をベースにした身体（すなわち、3D振動率と、炭素を構成する電子に性格づけられた原子スピンの方向に合った身体）から、5次元あるいはもっと高い次元の、クリスタル様の身体（すなわち、5Dの原子スピンと水晶の周波数に合った身体）へと移行しつつある。同様に、動物や植物の身体、地球の上や内部に住むすべての存在もまた、銀河全体がそうであるように、我々と共にこの移行を果たしつつある。

我々の「ライト・ボディ」もまた活性化されつつある。それは、これらの新しいエネルギーが、神性をもち十分に意識が目覚めた存在としての我々自身の青写真を含むDNAの眠った部分を、再活性化させるからである。今のところ人類の大多数は、二重らせんに撚り合わさった、2本の機能するDNA紐しか持っていない。我々のDNA構造のこの部分には、生物としての我々の情報が含まれている——我々の個人的特徴や、父方の祖父のリューマチ傾向、母の音楽的才能といった、家系的な遺伝情報など。これらの2本のDNA紐はまた、我々の肉体的進化の遺伝子コードをも含んでいる。しかし我々のDNA構造にはそれ以外の別の部分があって、それは人間存在の**霊的な要素**に関係しており、科学がこれまで考えてこなかったものである。もし人間存在が、生物としての身体の内部に埋め込まれた「魂」から成っていると考えるのが当然とするなら、一人ひとりの遺伝子のリンクには、霊的情報もまた含まれると考えるのが論理的な結論であろう。もしそうだとすると、その問題はどうかなのだろうか？

実はこれら霊的要素の多くは、我々の太古の歴史において、人間のこの部分をコントロールしようとする闘争があったために、故意にスイッチを切られたのである。非常に暗いエネルギーをもった地球外人の勢力が存在し、彼らは遺伝子操作の能力をもっていたので、人類の発達をしっかりと自分たちの統制下におこうとした。彼らはこれを、我々の遺伝子を操作して、恐怖と支配を生み出すことによって成し遂げた。この出来事は、アトランテ

イスで 13,000 年以上も前に、人間の DNA 分子が切れたときに起こった。これら暗黒勢力が我々の DNA を解きほぐし、再構成したとき、彼らはそれらの（多数あった）紐の多くを閉ざし、切り離すことができた。そして人間の DNA は一対の二重螺旋だけになったのである。我々の本来もっていた DNA を切り離すという操作の結果として、我々の 5 つの肉体的感覚と我々の霊的意識の間が「ヴェール」で仕切られるようになった。しかし、より高い領域（the Higher Realms）から与えられていた約束があった。我々の未来のどこかの時点で、神の元々の計画の青写真に従って、我々は再び発展することができるという約束だった。それまでの間、人類は、長く苦痛に満ちた霊的発達の期間を通り抜けねばならなかった。我々の霊的伝統を導いてきた人々は、我々が霊的に成長し、失った能力を取り戻させるように、我々の思考と欲望を向上させるための、彼らの代表をここに送ってきた。そのような進んだ魂たちの中に、多くの預言者、イエス・キリスト、ムハンマド、仏陀、大天使ミカエルなどがいるのである。